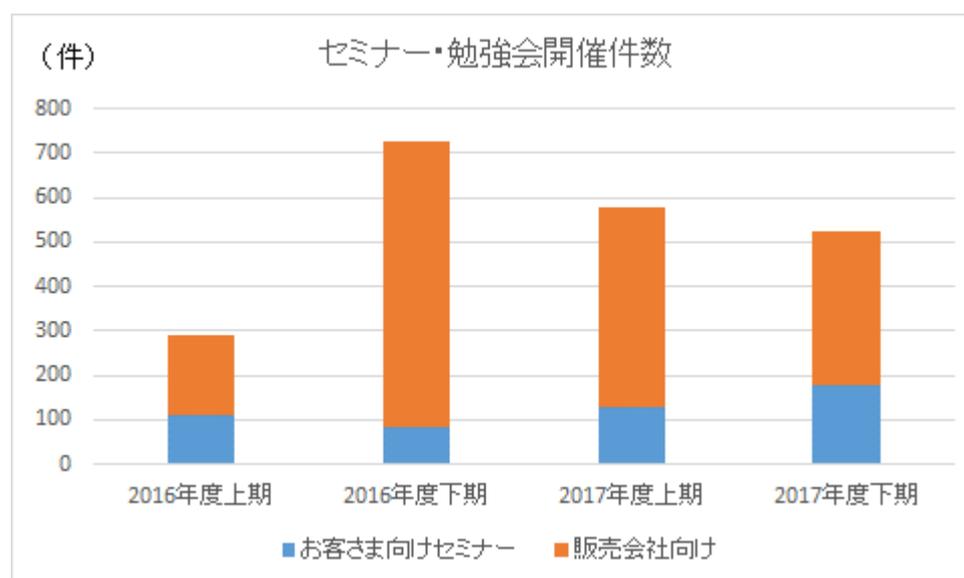


(別紙)

投資に資する情報提供については、お客さまや販売会社の社員の方に向けてセミナー及び勉強会を以下のとおり開催いたしました。

<KPI; セミナーの開催頻度>



当社ウェブサイトにおいて、投資を行なって頂く上で有益であると思われる情報を、分かり易く、タイムリーにご提供することを心がけました。

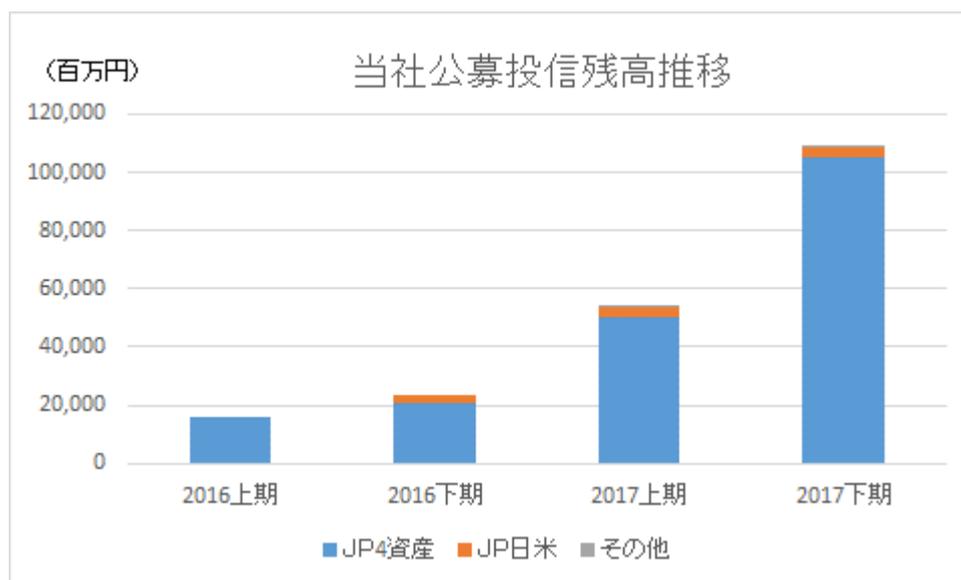
<KPI; 投資に資する情報提供の発信頻度>

	2016年度	2017年度
情報提供資料 (WEB)	38	72
内、臨時レポート	5	4

当社ウェブサイトを通じた情報提供資料の件数です。臨時レポートは、市場が大きく変動した場合等に、その要因について当社の見解をタイムリーにご提供することを目的としたレポートをいいます。

お客様の長期投資に資する商品のご提供、及びお客様へのわかりやすい投資に関するセミナーの開催や、ウェブサイトを通じた情報提供を行なうことに努めた結果、当社の投信残高は以下のような推移となりました。

<KPI: 投資信託残高>



当社が運用する全ファンドの各期末時点で純資産額の推移です。

また、当社の運用する全ファンドの平均保有期間は以下のとおりです。

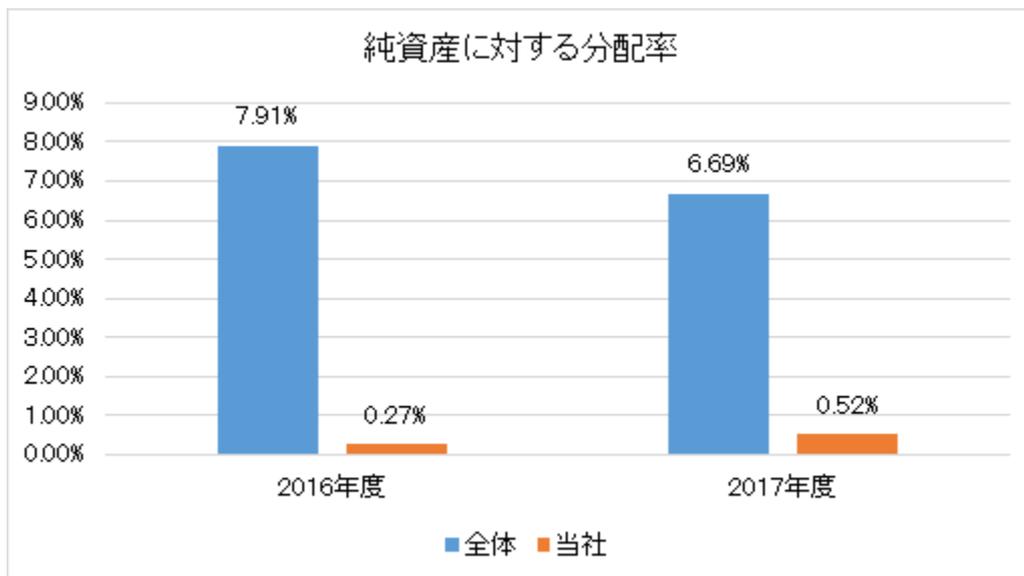
商品名	設定日から基準日までの期間	平均保有期間	備考
JP4 資産バランスファンド (安定コース)	2年2ヶ月	1.96年	公募
JP4 資産バランスファンド (安定成長コース)	2年2ヶ月	2.27年	公募
JP4 資産バランスファンド (成長コース)	2年2ヶ月	0.91年	公募
JP 日米バランスファンド	1年6ヶ月	2.20年	公募
JP4 資産バランスファンド (DC)	7ヶ月	-	確定拠出年金向け
JP 日米バランスファンド (DC)	7ヶ月	-	確定拠出年金向け
JP4 資産均等バランス	6ヶ月	-	つみたて NISA 向け

平均保有期間は、2017年度の平均純資産残高を同期間の解約額で除して求めた数値を表示していることから設定日から基準日までの期間よりも長くなる場合があります。

基準日は、2018年3月31日

長期投資を行なっていただくお客さまに、複利効果による資産の成長を享受していただくため、分配金額は、原則、ファンドが決算期に得た配当益や売買益の範囲で決定いたしました。その結果、投信全体の純資産に対する分配金の割合（分配率）と比較し、当社の分配率は低い水準となっています。

<KPI:純資産に占める分配率の推移>



分配率は、年度の月末平均純資産額に対する分配金総額の割合

全体の数値は、公募株式投資信託（ETFを除く）の純資産総額及び収益分配金を使用し、一般社団法人投資信託協会のデータを元にJP投信が作成